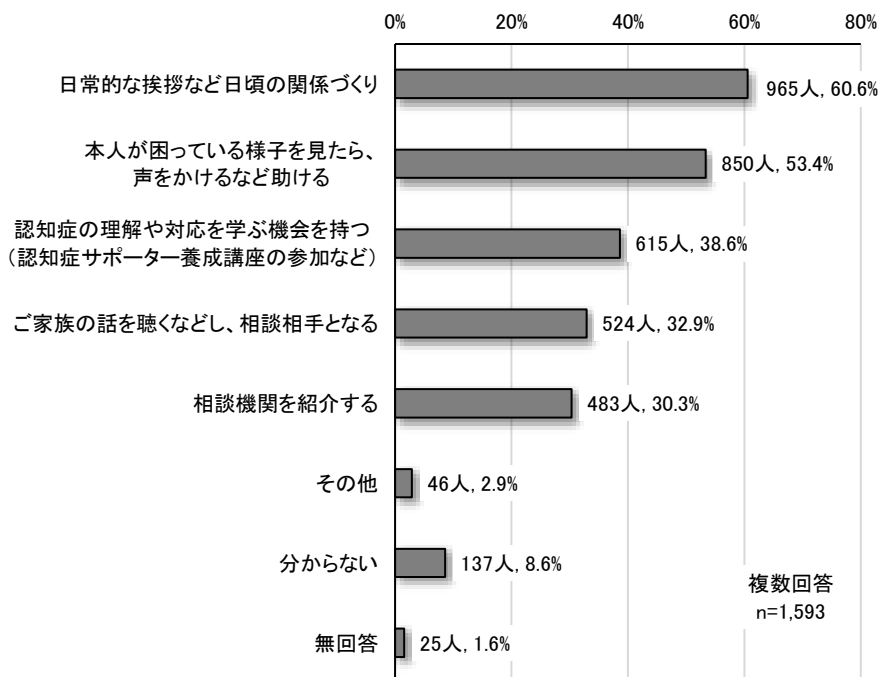


10 認知症について

問 25 認知症の人とそのご家族を地域で支えるために、どのような手助けができますか。

(〇はいくつでも)

- ・「日常的な挨拶など日頃の関係づくり」が 60.6%で最も多く、約 6 割の人が挙げている。次いで「本人が困っている様子を見たら、声をかけるなど助ける」が 53.4%で、半数強である。以下「認知症の理解や対応を学ぶ機会を持つ（認知症サポーター養成講座の参加など）」(38.6%)、「ご家族の話を聴くなどし、相談相手となる」(32.9%)、「相談機関を紹介する」(30.3%) についても 3 割以上が挙げている。



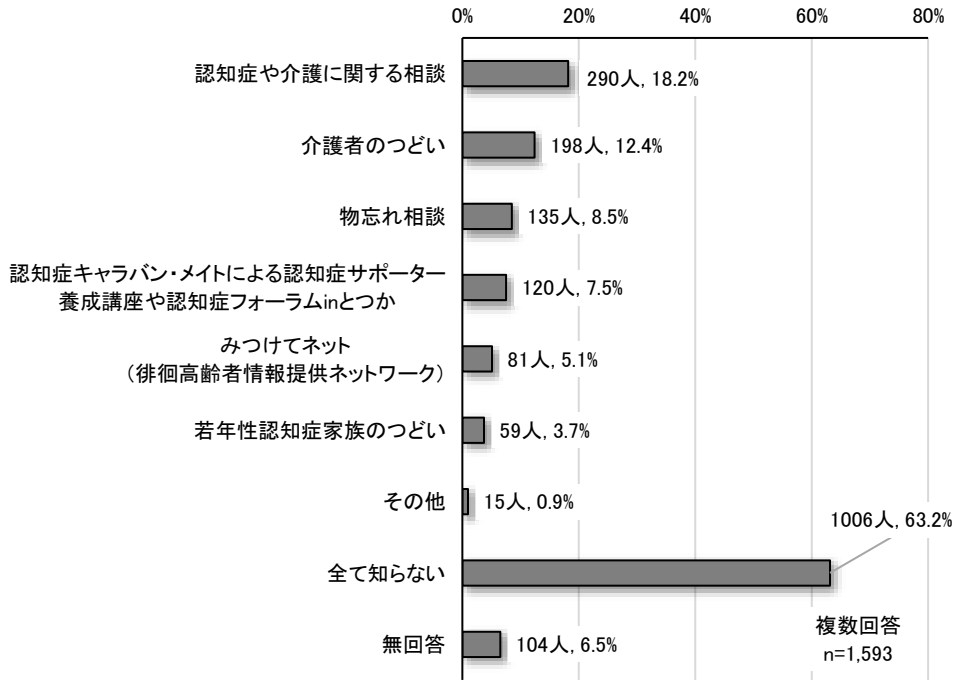
■ 年齢別 認知症の人とそのご家族を地域で支えるためにできる手助け

- ・いずれの世代も「日常的な挨拶など日頃の関係づくり」が最も多くなっている。また、10代では「分からない」、80代以上では「本人が困っている様子を見たら、声をかけるなど助ける」が、全体に比べて10ポイント以上高くなっている。

	合計	問25 認知症の人とそご家族を地域で支えるためできると思う手助け								
		日常的な挨拶など日頃の関係づくり	本人が困っている様子を見たら、声をかけるなど助ける	ご家族の話を聴くなどし、相談相手となる	相談機関を紹介する	認知症の理解や対応を学ぶ機会を持つ(認知症サポーター養成講座の参加など)	その他	分からない	無回答	
全体	1593	60.6	53.4	32.9	30.3	38.6	2.9	8.6	1.6	
年齢(年代別)	10代	54	59.3	51.9	33.3	11.1	38.9	1.9	20.4	0.0
	20代	110	56.4	40.0	35.5	37.3	37.3	0.0	9.1	0.0
	30代	179	60.3	47.5	33.0	28.5	39.7	1.7	9.5	0.6
	40代	280	51.1	46.4	35.4	38.2	40.4	3.6	10.7	0.4
	50代	245	56.3	52.7	31.4	37.1	40.4	3.3	9.0	0.4
	60代	305	64.9	58.4	31.1	28.5	39.7	2.6	6.6	1.6
	70代	268	69.0	60.8	34.0	26.1	40.3	3.4	5.6	2.2
	80代以上	129	68.2	63.6	31.8	20.2	28.7	4.7	7.8	4.7

問 26 区役所や地域包括支援センター（地域ケアプラザ）が認知症の理解や対応のために行っている次の取組を知っていますか。（〇はいくつでも）

・「全て知らない」が63.2%で最も多く、6割以上となっている。それぞれの取組の認知度としては「認知症や介護に関する相談」が18.2%、「介護者のつどい」が12.4%で、1割を超えているのはこの2指標のみである。



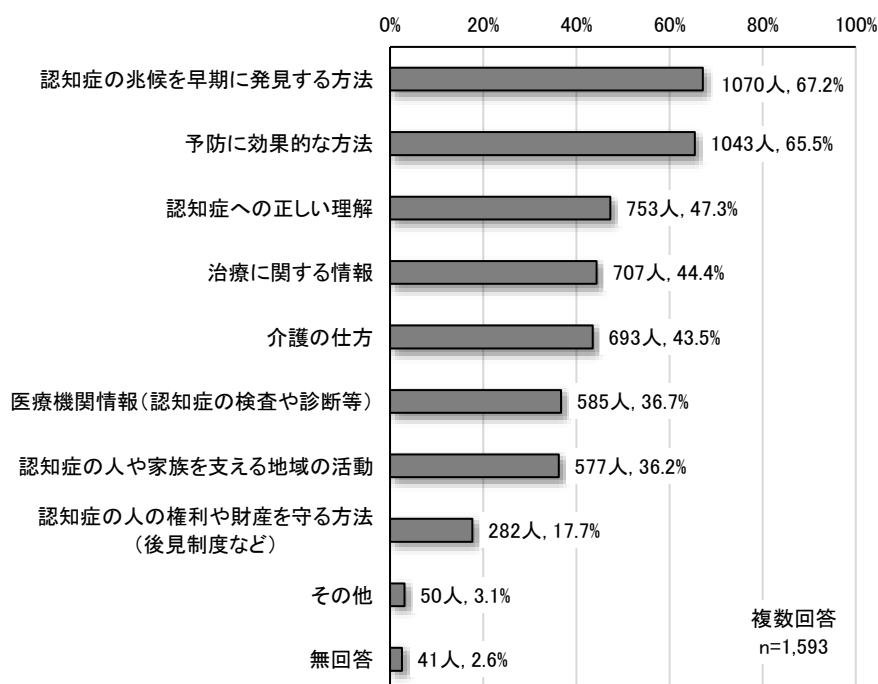
■ 年齢別 認知症の理解や対応のために行っている事業の認知度

・いずれの世代も「全て知らない」が最も多く、10代、30代では8割を超えている。また、70代では「認知症や介護に関する相談」の数値が全体値を10ポイント以上、上回っている。

		合計	認知症キャラバン・メイトによる認知症サポーター養成講座や認知症フォーラムinとつか	物忘れ相談	介護者のつどい	若年性認知症家族のつどい	みつけてネット (徘徊高齢者情報提供ネットワーク)	認知症や介護に関する相談	その他	全て知らない	無回答
問26 区役所や地域包括支援センターが認知症の理解や対応のために行っている取組で知っているもの											
全体		1593	7.5	8.5	12.4	3.7	5.1	18.2	0.9	63.2	6.5
年齢 (年代別)	10代	54	5.6	3.7	3.7	1.9	0.0	1.9	0.0	81.5	5.6
	20代	110	3.6	5.5	6.4	3.6	2.7	9.1	0.9	74.5	2.7
	30代	179	2.8	3.9	3.9	2.2	2.2	7.3	0.6	84.4	3.9
	40代	280	5.4	6.1	6.8	2.5	3.6	9.3	0.0	76.8	3.9
	50代	245	9.4	6.9	13.1	4.9	7.3	20.8	1.2	62.9	2.4
	60代	305	8.5	10.2	18.4	5.6	7.9	25.9	0.7	57.0	3.6
	70代	268	11.6	13.4	19.0	4.1	5.2	28.7	1.9	42.2	13.1
	80代以上	129	8.5	11.6	17.1	1.6	6.2	20.2	2.3	51.2	15.5

問 27 あなたは、認知症のどのようなことに関心がありますか。(〇はいくつでも)

- ・「認知症の兆候を早期に発見する方法」が 67.2%で最も多く、次いで「予防に効果的な方法」が 65.5%と、認知症予防に関する指標を 7 割近くの人が挙げている。以下「認知症への正しい理解」(47.3%)、「治療に関する情報」(44.4%)、「介護の仕方」(43.5%)を 4 割以上の方が挙げている。



■ 年齢別 認知症について関心があること

- ・10代から30代までの世代では「予防に効果的な方法」、40代以上の世代では「認知症の兆候を早期に発見する方法」が最も多く、40代を境に傾向が分かれた。

	合計	問27 認知症のどのようなことに関心があるか										
		認知症への正しい理解	予防に効果的な方法	認知症の兆候を早期に見する方法	治療に関する情報	介護の仕方	認知症の人や家族を支える地域の活動	認知症の人の権利や財産を守る方法(後見制度など)	医療機関情報(認知症の検査や診断等)	その他	無回答	
全体	1593	47.3	65.5	67.2	44.4	43.5	36.2	17.7	36.7	3.1	2.6	
年齢 (年代別)	10代	54	55.6	61.1	40.7	38.9	48.1	37.0	18.5	16.7	3.7	1.9
	20代	110	48.2	59.1	58.2	35.5	42.7	34.5	10.9	17.3	5.5	0.9
	30代	179	43.0	62.0	60.3	38.0	43.6	33.0	12.8	27.4	2.8	2.2
	40代	280	44.6	67.5	68.6	45.0	50.7	44.6	22.1	35.0	2.5	1.4
	50代	245	43.3	66.9	68.6	49.0	45.3	40.4	18.4	41.6	4.1	2.0
	60代	305	46.6	67.9	69.8	48.5	44.6	38.0	18.4	43.9	1.6	1.3
	70代	268	56.0	68.3	77.6	50.4	42.2	29.9	19.4	46.3	2.2	3.0
	80代以上	129	47.3	62.8	65.1	35.7	28.7	28.7	16.3	34.9	6.2	4.7